

大きな願いに 身をまかせ 安楽浄土への 道を歩む

お寺の本堂にお参りに行った時、ご自宅のお仏壇の前に座つて手を合わすとき、何に対して手を合わせておられますか？

浄土真宗のみ教えをいただく念仏者の礼拝の対象は阿弥陀如来(南無阿弥陀仏)です。亡くなった方のお写真やご遺骨、ご位牌などに手を合わせているのではありません。お寺でお参りする時、お葬儀の時、ご法事の時、阿弥陀様に手を合わせているのです。そして、阿弥陀様に手を合わせている時に自分の欲望を願った



り、近況を報告することはしません。健康、長寿、豊かな財産、地位名誉といったものの独り占めを目標として、病気が治りますように、長生きができますように、財産が増えますように、人から立派な人だと思われる人間になれるように、試験に合格しますように、素敵な異性と出会えますようにといった、自分の欲望を満たすために阿弥陀様に手を合わすのではありません。また、この一年間にこんなことがありましたと阿弥陀様に報告することもありません。浄土真宗ではなぜ自分の欲望を満たすことをお願いしたり、自分のことを報告したりしないのでしょうか？

それは阿弥陀様のほうが先に私に対して願つて下さっているからです。そしていつも阿弥陀様は私たちを見守っていて下さるからです。阿弥陀様は自分のことしか考えることができない凡夫である私のことを心配し、「必ず救う、われに任せよ」と呼

び続けて見守つて下さっています。

阿弥陀様に手を合わしお念仏を申すと、いうことはいつも見守つてくださっている阿弥陀様に対する報恩感謝のお念仏です。私のことを心配し、私に対して「必ずあなたを苦しみのないお浄土に生まれさせ、仏様にする」とはたらく続けて下さっている阿弥陀様の大きな願い・はたらくに気付いたときに、阿弥陀様に対して「ありがとうございます、阿弥陀様、南無阿弥陀仏」という感謝のお念仏が出てくるのです。

大きな願いとは阿弥陀様の願い、つまり「本願」のことです。阿弥陀様は私に対して「お念仏申す人生を歩みなさい、そしてお浄土に往生して仏になることを人生の目的として過ごしなさい」と教え下さっているのです。自分中心にしか生きられず、空しく孤独に終わらねばならなかった私の人生が、阿弥陀様の大きな願いに出会うことによって、少しでも阿弥陀様を中心に生きていこうとする人生へと変わっていくのです。